

## 第3学年 外国語活動学習指導案

3年1組 T1:東口 貴彰 ALT:ジョセフ・タム

## 1. 単元名 「Who are you ?」(Let' s try!1 UNIT9)

## 2. 研究主題

英語を使って、主体的に楽しくコミュニケーションをとることができる子どもの育成  
～「未来そうぞう」において育成すべき資質・能力を育む外国語活動の授業づくり

## (1)単元について

第3学年は本校では英語学習がスタートする学年である。しかし、第2学年の時から朝学習として本校オリジナルデジタルブックである「今日の一口英語」を子どもたちの力だけで慣れ親しんできており、英語学習には意欲的な児童が多い。そんな第3学年がカリキュラムの最後として行うのが本単元である。本単元は、今までに学習してきた「動物」や「色」「形」などの英語表現に、新たに「体の部位」や「様子を表す形容詞」が加わる。それらの表現に絵本を読んだりコミュニケーション活動をしたりする中で楽しみながら慣れ親しむことを狙いとしている。また、本単元で取り扱う絵本”In the Autumn Forest”は、森の中で動物たちがかくれんぼをしている様子が描かれている。隠れている動物の色や形、様子を手掛かりに、児童は親しみを持って英語表現に慣れ親しめるだけでなく、この場面設定に既習の英語表現がたくさん使われていることから、その内容も比較的理解しやすいものとなっている。

本単元は単元の最後にプロジェクトとして、大阪教育大学附属平野幼稚園の子どもたちに自分たちのオリジナル絵本を作り読み聞かせを行う。具体的には、上記絵本に登場する英語表現のうち、動物や色・形などの英語表現を自分の好きなものに変え、絵本を作り、それを月に一度幼稚園で行われている英語の絵本の読み聞かせの際に披露するというものである。以前に5年生との英語の交流授業を行った際、自分たちも英語を使えるようになったら下の学年の子たちにも教えてあげたいという思いがすでに芽生えている。そんな中、「英語学習1年生」の第3学年にとって、英語に定期的に慣れ親しんでいる幼稚園の子たちに自分たちのオリジナル英語絵本を読んであげることは、その思いを行動として実行できるいい機会である。また、年下の子どもたちを相手にすることで同学年の友だち同士で活動をする以上に相手意識が高まり、より正しい英語を使おうという意識から自分の英語表現を見つめなおしたり、相手に伝わりやすくするために読み方を工夫したりと、「ことば」の観点の高まりが期待できる。また、本単元の途中では、以前に交流授業を行った5年生に作った絵本を読み聞かせる場を設定し、そこでアドバイスをもらうことで、英語表現の正確さの向上だけでなく、その5年生の姿から、今度自分たちが幼稚園の子たちの前で絵本を実際に読んであげるときの姿と照らし合わせ、より相手意識が高まるようになっていくと考える。

また、「ことば」の観点をより高めるため、本単元の途中には”Small Talk”や単元に関する「歌」、ICTを活用したアクティビティなど、豊富な言語活動やドリル活動を行う。これらの活動にプロジェクトや異学年交流という要素が組み合わさることで、未来そうぞう科における3つの資質・能力につながる力が外国語活動において発揮できるようにしていきたい。

## (2)単元の目標

○”Who are you?”と尋ねたり,それに答えたりする表現に慣れ親しんだりする。 (興味関心)【主】

○友だちの作ったお話を反応しながら聞いたり,相手に伝わるようにセリフを考えたりしている。

(人間関係)【協】

○自分の考えたお話を相手に上手く伝わるように工夫している。

(表現力)【創】

○絵本や友だちの考えたお話を聞いて,おおよそその内容が分かる。

(ことば)【主】

## (3)活動構成の仮説

①プロジェクトのゴールに幼稚園の子たちへの自作絵本の読み聞かせの時間を設定することで,お兄さんお姉さんとして幼稚園の子たちへの相手意識が高まり,主体的実践力につながる力が発揮され,よりわかりやすく伝わる工夫を試行錯誤する姿が見られるようになる。

幼稚園交流の場を設定することで,「喜んでもらえるような,相手に伝わりやすい絵本を作ってあげたい。」「下の年齢の子たちに英語を伝わるように工夫してあげたい。」という気持ちが芽生える。同学年の友だちとの交流と違い,下の学年の子に「教えてあげたい」という気持ちが自分自身の英語表現や伝え方を見つめなおし,本単元の英語表現の正確性向上だけでなく,主体的に繰り返し練習することで,表現の定着にもつながる。

## 3. 単元計画

時	活動	子どもの意識の流れ	指導上の留意点
1	In the Autumn Forest の絵本を楽しもう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>この絵本には,今までに習った動物がたくさん出てきたよ!</li> <li>隠れている動物の色や形から,かくれんぼしている動物を当ててるって内容だね。</li> <li>体の特徴が書かれているけれど,体を表す英語ってどんなのがあるのかな?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出てくる動物の鳴き声などにも着目し,日本語と英語の表現の違いに気づけるようにする。</li> <li>絵本の読み聞かせを通し,日本語と英語のリズムの違いに気づけるようにする。</li> <li>単元最後に幼稚園の子たちにオリジナル絵本を読み聞かせせることを伝えることで,物語作りに対する意欲を高められるようにする。</li> </ul>
2	体の部分を表す表現を知ろう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Hear, Shoulders, Knees and Toes”は昔歌ったことがあるよ!振付をつけて踊りながら歌えるよ!</li> <li>他にも,体に関する楽しい歌がたくさんあるよ!歌ってみたいな!</li> <li>へえ!首のことは”Neck”って言うんだ!</li> <li>これって,ネックウォーマーのネックと同じ意味なのかな?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時同様に絵本を読み,おおよその内容をつかめるようにする。</li> <li>体の部位を表す表現を知り,より物語の内容を深めることができるようにする。</li> <li>体の部分に関する歌をいくつか紹介し,自分の好きな歌で体の部分に関する英語表現になれ親しめるようにする。</li> </ul>
3	絵本の表現をもとに,動物クイズを作ろう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の英語もわかったし,僕たちのオリジナルの動物クイズを作りたいな。</li> <li>絵本と同じように,いくつかヒントを出そう!</li> <li>色や形の英語を使えば,ヒントができるね!</li> <li>長い耳があるよは “I have long ears.” だね!</li> <li>白い動物だから “I am white.” で伝わるかな?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物クイズを作ることを通し,物語に出てくる表現になれ親しめるようにする。</li> </ul>
4 本時	動物クイズを解いて,動物図鑑を完成させよう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちはどんなクイズを作ったのかな?</li> <li>私はウサギを選んだんだけど,うまくヒントが出せるかな?</li> <li>「君は誰?」と尋ねるときは “Who are you?” だね。</li> <li>鼻が長いってことは,ぞうかな?えっと,英語で尋ねるときは “Are you an elephant?” だったよね!</li> <li>やった! “Yes, I am.” って言ってくれたよ!図鑑が一つ埋まったね!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物クイズを友達に出し合うことで,物語に出てくる英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</li> <li>友だちが考えた動物クイズに質問したり答えることで,英語表現の幅を広めたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>ICTを活用し,動物図鑑を作ると言う場面を設定することで,より子どもたちの意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>
5	オリジナル絵本を作ろう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物クイズの表現や絵本の英語表現を使って,オリジナルの絵本を作ってみよう!</li> <li>幼稚園の子達,喜んでくれるかな?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物クイズで使った英語表現をもう一度復習することで,オリジナル絵本の内容に活かせるようにする。</li> </ul>
6	5年生にオリジナル絵本のアドバイスをもらおう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>さすが5年生の子たちだね!</li> <li>5年生がアドバイスしてくれたように,もう少し気持ちを込めて読んでみよう!</li> <li>“Are you dog?” って言ったら,5年生の子が “a” が抜けているって教えてくれたよ!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生に実際に読みかきせをし,アドバイスをもらうことで,幼稚園の子たちにより伝わるための工夫を考えることができるようにする。</li> <li>5年生との交流をすることで,絵本で使っている英語表現を見直し,より良い表現に訂正することができるようにする。</li> </ul>
7	幼稚園の子たちにオリジナル絵本の読み聞かせをしよう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>いよいよ幼稚園の子たちに発表だね!</li> <li>幼稚園の子達,とっても笑顔で聞いてくれたよ!嬉しいな!</li> <li>もっと英語で絵本を作りたいな!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園の子たちに実際に絵本を読むことで,単元を通しての達成感を持つるようにし,次の単元に意欲をつなげられるようにする。</li> </ul>